



平成 22 年 2 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド・ドット・コム  
代表者名 代表取締役 安嶋 幸直

( J A S D A Q ・ コード 2330 )

問合せ先 執行役員財務部長 飯田 潔

電話 03-5339-5211

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年11月2日付当社「平成21年12月期第3四半期決算短信」において発表いたしました平成21年12月期（平成21年1月1日～平成21年12月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成 21 年 12 月期 通期連結業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	6,000	600	600	600	256.97 円
今回修正 (B)	6,126	46	225	397	175.70 円
増減額 (B-A)	126	△554	△375	△203	—
増 減 率	2.1%	△92.3%	△62.5%	△33.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 12 月期)	5,042	△235	△269	△68	△29.45 円

### 2. 修正理由

当連結会計年度における世界経済は、景気後退が続く中、各国の景気刺激策の効果によって、アジアでは改善の動きが見られるなど下げ止まりの兆しを見せておりますが、その回復力は乏しく、依然として厳しい状況が続きました。我が国経済も、円高などの影響によって輸出企業の収益圧迫や設備投資の削減が進むとともに、雇用情勢の悪化により個人消費が低迷するなど、厳しい環境状況で推移いたしました。当社グループの連結売上高につきましては、電子書籍を中心とした 3G コンテンツへの集中投資、戦略的なプロモーション展開により売上が急角度で成長させる事ができました。また、電子書籍専用端末やスマートフォンの普及が加速的に進んだことが追い風となり、電子書籍サイトの成長による 3G 売上が大幅に増加したため、前年比売上 137%成長となりました。結果、売上高 6,126 百万円と当初の予想数値を達成することができました。

具体的には、3G 商材として、リッチコンテンツやサブコンテンツの投入により、価値あるサービスの充実と売上の更なる積み上げのため、高額課金ユーザー層から中・低額課金ユーザーまで

幅広く獲得いたしました。売上高は増加したものの、営業利益につきましては、当初海外展開向け e-books 事業への先行投資を当初見込んでいなかったところ、急激に拡大していく電子書籍市場やモバイルやスマートフォンプラットフォームに向けて集中投資をするために、e-books 事業へのポートフォリオの組換えを行い、その施策としてマルチプラットフォーム開発やマーケティングシステムの構築、販売チャンネルにあわせた e-books の大量投入等、先行投資費用として新たに 60 百万円計上いたしました。また、当初見込んでいたプロモーション費用に加え、プロモーション活動において想定の時期に売上が見込めなかった為、広告宣伝費 675 百万を費用計上した結果 46 百万円を計上いたしました。経常利益につきましては、営業利益の要因と当初の見込みより多く資金運用が見込めた為、225 百万円を計上いたしました。当期純利益につきましても、経常利益の要因と法人税等調整額を加え、397 百万円を計上いたしました。以上の結果、誠に遺憾ながら、当期業績を上記の通り修正するものであります。

3. 平成 21 年 12 月期個別業績の見通しについて（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
業績見通し	6,126	46	226	398

※ 平成 21 年 12 月期(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)の個別業績につきましては、業績予想を開示しておりません。

（ご参考）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前期実績 (平成 20 年 12 月期)	4,471	△11	△40	△1,197

4. 見通しの理由

当期の個別売上高につきましては、電子書籍を中心とした 3G コンテンツへの集中投資、戦略的なプロモーション展開により売上を急角度で成長させる事ができ、6,126 百万円と大幅に増加する見通しです。営業利益に関しましては、引き続き第 4 四半期において売上拡大の為プロモーションを行い、またギャランティにて獲得していた一部が消化不足となり 46 百万円を見込んでおります。経常利益に関しましては、営業利益の要因と資金の効率的な運用が影響し 226 百万円を見込んでおります。当期純利益につきましては、法人税等調整額を計上し 398 百万円を見込んでおります。

以 上